

令和7年度 中津川市立落合中学校 学校経営構想

【学校の教育目標】 個性を磨き、学力と社会性を身に付けた人間性豊かな生徒の育成
 【校訓】 かしこく やさしく たくましく

生徒の実態

- 素直で謙虚な生徒が多い。
- 集団で生活する上で必要な決まりや規則を守ることができる。
- △今の自分(達)に満足し、より良く、よりできるようにという向上心に弱さがある。
- △自分の考えをもち、積極的に表現し伝えようとする姿勢に弱さが見られる。

教職員の姿

- 集団として指導することの大切さを共通理解し、常に組織の一員として共働行動ができる。
- 全教職員が自分の分掌に責任を持ち、すべきことを丁寧かつ確実に遂行することができる。
- △個々の生徒の実態を把握し、段階的、計画的に行っている指導をより成果につなげたい。

目指す生徒像 **落合中らしさ**にこだわる生徒。より良い自分になるようとする生徒。

- こだわり1 「**凡事徹底**～当たり前前かがい前かがい前かがい～」の定着
- こだわり2 「**落合ブランド** (先手の挨拶・響き合う合唱・心を磨く清掃・全員参加の授業)」の発展
- こだわり3 「落合中・神坂中統合」を見据えた**自治活動**と積極的交流

	★重点目標 ※指標	具体的な取組・方策	担当
学力向上・定着	★確かな学びの定着 ※各教科のアンケート(4月・7月・11月実施)で「自分の考えを堂々と発表できる」の評価×を0人に	○思考力判断力表現力を育てる ◎学びの定着を図るための、既習内容を活用した思考・判断・表現をする場の設定のある授業改善→研究推進 ・学びに向かう力を育てる学び方指導 (ST、授業、ICT) ・基礎基本の定着 (授業 家庭学習 ST) ・神坂中と交流授業	★学習部長 ★研推長 教科主任 教務主任
心が通い合う楽しい生活	★人権感覚の高揚 ・人権感覚を高め、思いやりの心と感謝の心を育成 ※人権関係の作品へ全員が応募不参加を0人に ★主体的な特別活動 ・日常と集団を高める生徒会活動 ・自己有用感を高める学級経営 ※Q Uで学級満足群生徒を60%以上、左下群を0人に	○心の教育の推進 (重点: 思いやりと感謝) ・道計訪問 (12月)を通して「心の教育」の手立てを学ぶ ◎人権関係作品の全員応募と優良作品の紹介 ・生徒も教師も行うよさ見つけ (びかつとさん) ・心を動かす体験的学習の実施 (ふれあい講座 職体等) ・心の教育、生き方指導の充実 ○落合4大ブランドを核とした伝統づくり ・生徒の主体性を育む場の設定と指導 ◎支え、認め、励まし合う生徒会・学級経営 ・体力・運動能力の向上 (昼休みの体育館開放 全校レク) ・統合への期待感・安心感を高める神坂中生徒との交流 ・仲間と関わる楽しさを実感できる活動の実践→不登校対策	生徒指導 ★人権班 ★道德班 教育相談 特活主任 ★生徒会 担当 ★学級担任
家庭地域連携	○より良い統合になるための活動 ・郷土 (落合と神坂) 愛を育む指導 ・PTAやCSの運営や活用 ・地域に生きる・地域を生かす取組	○本校の良さを発信、神坂中や地域との連携強化 ・教育活動の積極的発信 (HP・学校報・新聞投込) ・学校行事・授業の参観や作品展示会等、公開の場の設定 ・地域活動やボランティアへの積極的参加 ・地域の人材や団体を活用した授業の実施	教頭 教務 情報主任 HP担当
危機管理・組織運営	○連携する組織 ・早期発見・早期対応による危機の未然防止 ・報告連絡相談と共有 ・一人一人を大切にされた支援の充実 ・持続可能な組織運営	○災害、学校内事故、生徒指導等の危機に対する迅速な対応 ・落合中学校危機管理マニュアルの熟知 ・情報共有と組織対応(今週のスポット君) → 不登校対策 ・個の実態に応じた教育相談の充実 ・平時の環境整備と美化、安全点検の徹底 ・見直した勤務時間とリンクした日課の検証 ・神坂中職員との情報共有と連携	教頭 教務 保健主事 事務主任 教育相談 統加教諭

学校教育活動を支える教職員の姿勢

「誰ひとり取り残さない教育をする！」 「私たちも「より良い自分に！」の心意気で！」

- ★確かな学びを定着させる丁寧な指導と授業改善で「学ぶ意欲」を高める (学習指導)
- ★全職員が全生徒に目を配り、個々の生徒の変化と成長にアンテナを高くする (生徒指導)
- ★生徒の活動を全力で支援し、成功体験を積み、自信とやりがいをもたせる (特別活動)